

<input type="checkbox"/> 専門教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 演習科目		受講料	5,000円
科目名： <b>手話入門</b>		科目コード	GA48
科目主査： <b>谷 千春</b>		単位	2
担当講師： <b>谷 千春</b>		配当年次	1
授業の目的と概要		グループワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
		個人ワーク：	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし
聴覚障害について、医学、福祉、教育、文化などの側面から理解し、課題を掘り下げていきます。 手話や指文字をはじめ、筆談、空書き、読唇などその他のコミュニケーション手段についても実習を通じて学びます。			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを確認し、ご自分の名前や簡単な挨拶を予習してください。 テキストに付属しているDVDを視聴してください。		
テキスト	『ゼロからわかる手話入門』谷 千春, 主婦の友社, 2011年 ※『はじめての手話』はスクーリングでは使用しません。		
この科目の 到達目標	①聴覚障害について、医学、福祉、教育、文化などの側面から理解することができる。 ②手話を使って簡単な挨拶や自己紹介ができる。 ③手話以外のコミュニケーションについて実践することができる。		
成績評価 の方法	授業中に実施する実技・ワークへの取り組み姿勢、参加状況および小テストの結果、最終試験にて評価を行います。実技では一人ひとり手話で発表してもらいます。		
事後学習	手話に関する参考文献、DVD、動画などで学習を継続してください。機会があれば、各地の手話講習会や手話サークルに通うこともお勧めします。		
事後学習の 参考文献	『NHKテキスト みんなの手話』NHK出版		
スクーリング受講時に用意するもの <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 受講票（iNetCampusのお知らせ機能を用いて通知されます）画面 <input checked="" type="checkbox"/> 学生証			